

1 教育目標

1	さとく	○よく聴き、よく考え、伝え合う子
2	やさしく	○豊かな心もち思いやりのある子
3	たくましく	○明るく元気で何事にも積極的に取り組む子

2 学校経営の方針

経営目標 「一人一人の子どもを大切にし、協働して信頼に応える職員集団」 ① 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり ② 一人一人が輝き、仲間と共にあゆむ学級づくり ③ ふるさとを愛する子どもの育成 ④ 地域・保護者と連携した教育活動が展開される開かれた学校 ⑤ 積極的に学校運営に参画し、「チームいちかい」で取り組む教職員集団 教育スローガン (学校生活の基本) ◎礼を正し ◎時を守り ◎場を清める あいさつ あつまり あとしまつ キラリかがやく いちかいつ子

3 今年度の努力点

◎地域と学校の協働体制の充実 ・地域コーディネーターとの連携 ・幼保小交流、小中連携の充実 ・学校評議員会の充実 ◎教職員の資質の向上 ・校内研修(教員同士の学び合い)の充実 ・中堅・若手教員の育成 ・服務規律の保持	◎ふるさと学習の推進 ・豊かな体験活動の場の設定 ・総合的な学習の時間、生活科の充実 ・地域の名人を活用した学習の展開 ◎保護者との連携 ・保護者の思いを生かす指導 ・PTA活動の充実 ・各種ボランティアとの連携	◎地域と連携した安全指導の徹底 ・安全安心な学校づくりの推進 ・安全教育、防災教育の工夫・改善 ・登下校時の見守り隊の組織化 ◎業務改善の推進 ・業務の見直し・改善の推進 ・働き方改革についての意識化 ・PDCAサイクルの確実な実施
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 評価

※ 評価指標の★は本年度の重点
 ※ 評価 A：優れている B：良い C：おおむね満足 D：改善を要する

項目	評価指標	主な具体的評価指標 ★は本年度の重点	自己評価		学校関係者(評議員) 評価		
			評価	取組状況、成果・課題			
教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気で見守り児童は生き生きと生活している。 ・教職員は責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。	① 児童や学校の実態、保護者や地域の意見・要望を踏まえ、学校としての教育目標(重点化された目標)を適切に設定している。	A=11 B=3 C=0 D=0	A	○工夫しながら系統的、継続的に実践されている。		
		② 学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員の共通理解を図っている。	A=12 B=2 C=0 D=0	A	○休校の影響で、今年は教育課程の再編が難しかったと思います。	A	
		③ 教育課程の実施に必要な教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	A=10 B=4 C=0 D=0	A	△コロナウイルス感染症予防のため、音楽の時間が不足してしまった。3学期に調整したい。 △教科書や評価基準が変わって、年計も変更する点が多く先生達にお願いしているところ。年度末までに、係(道徳)で一度確認したい。	A	○ほぼ計画どおり実践できたことは、大変良いと思うし、誇れることである。
		④ 全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に運営している	A=10 B=4 C=0 D=0	A	○感染症予防を意識ながら、臨機応変に行事の運営ができたと思う。(運動会、持久走大会など)	A	
		★豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図っている。	A=9 B=2 C=3 D=0	A	○臨海自然教室の代わりに、芳賀青年の家に行けたことは良かった。 ○サンバの里自然学校でのふるさと体験学習は、ふるさとに対する理解を高める上でとてもよかった。 ○コロナ禍でも、できることを取り入れたことがよかった。 ○講師を招く形は今年度は取れなかった。 ○コロナ禍の中で十分な活動は確保できなかったが、可能な限り取り組んできた。 △今年度はあまり行えなかった。	A	○大きな行事が中止になった中、学校単位でいろいろ行えたのが良かった。 ○臨海自然教室は(予定されていた時期が、コロナ感染が拡大していたので)結果的に中止にしてよかった。
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(児)みんなにここに生活している。 ○(保)子どもたちと向き合っている先生が多い。 ○(保)穏やかな雰囲気の中で、児童たちがのびのびと生活している。 ○(保)コロナ対応をしながら学校行事を適切に実施していただきありがたかった。		

学習指導	教職員は児童に確かな学力を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努めている。	A=10 B=3 C=1 D=0	A	○コロナ禍だからこそ、発問の工夫や児童のゆさぶりなど意識を強くしてできた部分もある。教材研究がよくされている。 ○毎時間ねらいを設定したり、発問を工夫することで分かりやすい授業作りに努めている。 ○研究授業を行うことができた。また、学力向上推進リーダーに御指導いただいたことがありがたかった。 ○子どもたちの意見をつなぐ発問に心がけた。	A	○コロナ禍の環境の中で、マスクを着用して児童の考えを大切に授業が実践されている。
		②T、Tによる習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、個に応じた指導を適切に実施している。	A=13 B=0 C=1 D=0	A	○支援タイムは本当にありがたいです。来年度も継続をお願いします。 ○支援タイムやT・Tとの連携で、個別支援を行うことができた。必要な児童は、朝の学習や業間、濱澤先生にご指導いただいた。 ○理解が遅れがちな児童への支援を徹底することができた。 ○特に算数において、教室を2つ使って少人数での指導を行うことができた。 ○個人の習熟度に応じて、指導方法を変えるなど、柔軟に学習を行うことができた。 ○T.Tに加え、支援タイムとの連携を図りながら個に応じた指導を進めることができた。 △TTによる指導は行っているが、習熟度に応じた指導は難しい。	A	
		③各教科等で身に付けた知識や技能との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。	A=5 B=6 C=0 D=1	B	○大塚訓平さんによる講話や車椅子体験は、福祉への意識を高めるためにとっても有効であった。	A	
		★ペアやグループでの話し合い活動等を取り入れ、言語活動の充実に努めている。	A=6 B=6 C=2 D=0	B	○話し合いの形態や話し合いツールの工夫など、言語活動の充実に努めていた。 ○グループ活動等、制限がありましたが、ホワイトボードを使ったことがよかった ○コロナ禍ではあるが、新しい生活様式を守りながら工夫した。 △ペアでの活動は行っているが、グループ活動の充実が求められる。 △この状況で十分な話し合いの場を設定するのは難しかったが、必要に応じてペアやグループ活動を取り入れるようにした。内容をもう少し充実させたい。	A	○2年生の算数の授業は(ペア・グループ活動)よく取り入れられている。
		★魅力ある学習課題の設定や体験的問題解決的な学習を展開している。	A=6 B=7 C=1 D=0	B	○主体的な学びや考えを深めたりするためのねらいの提示なども工夫されていた。 ○楽しい、やってみたいと思えるような導入を工夫した。 ○研究授業・授業研究会ともに充実していた。 △体験的な学習は取り入れているが、魅力ある学習課題の設定にはまだ課題が残る。 △「体験的」にまでの展開は少なかった。	A	△今後はタブレットをどのように活用するかが課題である。
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A			
心の教育・道徳教育	教職員は児童が豊かな心を育み、道徳的実践力が身に付くように、心の教育及び道徳教育の充実に努めている。	①教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりを通して思いやりの心が育まれるように努めている。	A=7 B=5 C=1 D=0	A	○日々の学級経営の充実により、子どもたちの豊かな心の醸成が図られている。 ○人権週間の際に、「さん付け」を意識したところ、優しい言葉遣いを心がける児童が増えた。 ○行事などを通して指導するよう意識した。 ○各学年で地域人材を生かした活動を実施できていることも役立っていると思う。	A	○子どもたちは戸惑いがあると思うが落ち着いた環境の中で心は育っていると思う。 ○日常生活の児童の言葉が優しい。
		★道徳の時間の指導や日々の実践を通して、児童が善悪についてしっかり判断してルールやマナーを守り、道徳的実践力が身に付くように努めている。	A=7 B=5 C=1 D=0	A	○自分のことを振り返って、改善できることなど考える姿が見られた。 ○毎時間の道徳の授業を大切に行った。また、日々の生活の中で繰り返し指導を続けてきた。 △理解はできていると思うが、実践力が身に付いていない児童が多い。 △毎週1時間の道徳の授業を大切に行っている。いかに議論する道徳にもっていくかはまだ課題かと思う。	A	○今のところコロナ差別はないと思われる。
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A			
キャリア教育	教職員は児童が将来の生活によりよく適応し進歩する能力を伸ばせるように努めている。	①日記指導や日々の学級指導において、児童が自分の日常を振り返ったり、自分のよいところに気付いたり、伸ばしたい自分の姿や目標などを意識したりする機会を設けている。	A=9 B=4 C=0 D=0	A	○振り返りジャーナルを使って毎日の振り返りを書いたことで、普段の思いを知ることができ、個への対応もスムーズにできた。 ○キャリアパスポートなどを生かして、行事ごとに反省をするなどした。また、人権週間の「友達の良いところ」では、お互いのよさを認め合うことができた。 ○運動会や遠足などの行事の事前・事後にキャリアパスポートの活用をすることができた。	A	

		②学級活動等の指導計画に、将来のことを考える学習を位置付け、自分の将来の夢や希望を目指して努力するよう指導に努めている。		A=6 B=6 C=1 D=0	B	○キャリアパスポートの活用ができた。 ○キャリアパスポートを使って、将来のイメージや、なりたい自分について考えることができた。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		○(児)みんなが目標をもってとりくんでいる。 ○(保)毎日の励ましのコメントが子どものやる気につながっている。		
児童指導	教職員は児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	①全職員の共通理解の下に指導体制が整備されている。		A=11 B=2 C=1 D=0	A	○職員会議などで情報交換しながら指導にあたることができている。 ○児童指導部会での決定・協議事項が伝達され、徹底に役立っている。	A	
		②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に行っている。		A=8 B=5 C=1 D=0	A	○月例の衛生・生活習慣検査の結果を生かして指導に努めた。 △昼休みや業間後の移動が遅い児童も見られる。時間が短いせいもあるかと思う。 △あつまりに課題。 △規範意識が身に付いていない児童もいる。	A	
		③職員の共通理解を図り、児童の問題行動に対する未然防止と指導に当たっている。		A=10 B=4 C=0 D=0	A	○指導が必要な状況が発生しても、他の先生方に相談しやすい雰囲気がある。 ○他の職員と共に、児童指導に当たることができた。 ○些細なことでも植木先生と共有することができたので、児童指導や保護者への対応がスムーズに行えた。 ○共通理解、複数の職員で対応がよくできていると思う。 ○児童の問題や対応については、よく共通理解が図られていた。 △朝の打合せに参加しないので、共通理解が出来ていないところがある。 △問題行動が起きた後の対処的指導が中心になっていた。	A	
		④教育相談を定期的に行い、児童理解に努めている。		A=11 B=3 C=0 D=0	A	○11月の教育相談で、児童一人一人とじっくり話をすることができ、悩みや問題を把握することができた。	A	
		★「3あ運動(礼を正し、時を守り、場を清める)」を推進している。		A=6 B=4 C=4 D=0	B	○自分からあいさつができる児童が増えてきた。 △集まりに関しては課題が残る。 △あいさつには課題が残る。 △あいさつ、集まり、後片付けは学年差や個人差が大きく、指導しても徹底できなかった。 △来校者や保護者、朝の昇降口でのあいさつはできない児童が多い。 △下校時のあつまりが騒がしくなる状況が見られた。 △3あの実践について、学年では校内や校外学習で繰り返し指導した。代表委員でポスター作成などして呼びかけしているが、個人差がある。まだまだ課題が残ると思う。	A	○あいさつ、お礼などはきちんとやる。
		★学級の雰囲気が温かく、児童が安心して学習や生活に取り組める人間関係づくりに努めている。		A=8 B=5 C=1 D=0	A	○QUの結果からも、よい雰囲気の学級であった。 ○目標や、活動の計画、問題への対策など、常にみんなで考えることを意識してきた。 ○児童が安心して生活できる雰囲気作りを意識できた。 ○1回目のQ-U検査の結果を学級経営に生かすように努めた。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		○(児)あいさつをしたら先生が返してくれる。 ○(保)あいさつがしっかりでき、気持ちよく学校へ足を運ぶことができる。 ○(保)3あ運動の推進など勉強以外にも学べるところがよい。		
人権教育	教職員は一人一人を大切に、児童が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①教育計画への適切な位置づけを行い、人権意識の高揚を図っている。		A=9 B=4 C=1 D=0	A	○児童の人権ふりかえりを学期ごとに行い、意識を高めることができた。	A	
		②各教科等の特質に応じて「育てたい能力・態度」の育成に努めている。		A=9 B=5 C=0 D=0	A		A	
		③教職員自らの人権感覚を磨く校内研修を継続的に行っている		A=6 B=7 C=1 D=0	B	○人権週間の諸活動は、教職員の人権意識高揚にも役立った。 △コロナ禍のため、時間の確保ができなかった。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		○(児)親切な人がたくさんいる。 ○(保)児童一人一人によく目を向けている。		

特別支援教育	・ 教職員は一人一人のニーズを把握し適切な教育的支援を行っている。	① 全職員の共通理解の下に校内支援体制を適切に整備している	A=10 B=4 C=0 D=0	A	○中里先生のコーディネイトがとてもありがたい。	A	
		② 個別の指導計画を適切に作成し、共通理解と活用を努めている。	A=8 B=4 C=2 D=0	A	△対象児童について定期的な計画、評価が十分ではなかった。 △作成はしてもそれを上手く活用することができなかった。 △活用までにはいたっていない。	A	
		③ 医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。	A=10 B=4 C=0 D=0	A	○クリニックから児童の情報提供があり、児童理解につながった。 ○SWの櫻井先生から児童に関する情報をもらえることがありがたい。 ○中里先生やSCと連携して、WISC検査や保護者面談をすることができた。 ○中里先生の調整のもと、野口先生と連携を図り、要支援児童の理解に努めることができた。	A	
		★ 一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援を行っている。(支援タイム等)	A=11 B=2 C=1 D=0	A	○支援が必要な児童に適切な指導ができ、安定した学校生活を送れている。 ○支援タイムは本当にありがたいです。 ○支援タイムの時間だけでなく、朝や業間も指導して下さることがありがたかった。 ○「支援タイムはよく分かるから楽しい」と参加している児童が言った。 ○個人の習熟度に応じて、考えながら、学習支援を行うことができた。 ○支援タイムでの個別指導は大変助かっている。 △低学年は支援タイムがなかったため、一人一人の教育的ニーズに応じることが難しかった。 △1年生は一斉授業の中で支援するだけにとどまっている。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(保) 支援教室があるので子どもに合わせて勉強する機会があり助かる。 ○(保) 支援タイムをしてから授業が解るようになってきたと言っている。		
保健・健康教育	・ 学校は、児童及び教職員の健康の保持増進に努めている。	① 児童を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する体制を整備している。	A=8 B=4 C=2 D=0	A	○喫煙・飲酒指導、生活習慣病予防指導等を実施できた。 ○薬物乱用教室ができてよかった。 ○丸山先生が事細かに整備してくれている。 △コロナ禍でも可能な内容を考えていく必要がある。	A	○コロナの中、今年は何をするのも大変だったと思う。
		② 日常の健康観察や疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。	A=10 B=3 C=1 D=0	A	○毎日の検温カードと体調のチェックを欠かさず行った。 ○健康観察とともに、検温カードの回収とチェックを毎朝行った。 △コロナ対策は、ガイドライン変更等に伴い新たな内容を実施することも多く、対応が後手に回ってしまうこともあり、反省点である。	A	○マスク着用や手の消毒などの習慣化が図られている。 △平熱が高い児童への対応が大変であったと思う。
		③ 健康診断や環境衛生検査を適切に実施し、事後処置の徹底を図っている。	A=9 B=5 C=0 D=0	A	○治療や検査が必要な児童について、担任の先生と連携し、受診につなげることができた。 ○ハンカチちり紙の携帯は身に付いてきた。 ○事後指導をくり返し行ったことで、×の児童が減った。 △衛生検査は、前日に連絡帳にて周知すると良い結果だったが、そのときだけの児童もいた。	A	
		④ 食育に関する指導を各学年の年間指導計画に位置付け、適切に実施している。	A=3 B=12 C=0 D=0	B	○給食時、平野先生が声かけをしてくれているのでありがたいです。 ○2学期も栄養教諭による食の指導を行うことができた。 ○平野先生に食に関する指導をしていただいた。 ○各学年ともに年計どおりに指導が実施できました。成果として苦手な食べ物にも挑戦する児童が増えました。	A	
		★ 教科体育及び教育活動全体の中で、効果的な体力づくりを実践している。	A=5 B=9 C=0 D=0	B	○12月になって、なわとびの練習が始まると、意欲的に取り組む様子がみられた。 ○業間の体力づくりが実施できなかったため、教科体育の内容を工夫した。 △業間時の体力づくりができなかったため、運動不足の子が見られる。何か方策も必要。 △持久走の練習が例年ほどはできなかった。 △コロナの影響で予定していた学習活動ができなかった。 △持久走大会への練習が足りなかった。	A	○児童の運動量を意図的に学校生活の中で確保しているのはすばらしい。 ○運動会もマラソン大会などもできたのはとてもすばらしいこと。
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(保) コロナで消毒等もありがとうございます。 ○(保) 給食のメニューが豊富でおいしい。 ○(保) 全校生が協力して清潔を保っている。 ○(保) ランチルームがあり、給食が温かくて美味しい。		
安全管理	・ 学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	① 学校事故等の緊急時に適切な対応ができるような危機管理マニュアルを作成・活用している。	A=10 B=4 C=0 D=0	A		A	△安全教育の中でウイルス対策も入ってくるように思う。

安全 教育		②安全点検(通学路を含む)を組織的・計画的に実施し、危険防止の措置を講じている。	A=9 B=5 C=0 D=0	A	○危険箇所の修繕は、中泉さんに素早く対応していただいている。 ○中泉さんが速やかに修繕してくださり、とても有り難い。 △通学路点検や立哨指導が今年度は実施できなかった。	A	
		③交通ルールへの遵守について学校行事や学級活動等を通して指導し、交通安全の意識の向上に努めている。	A=10 B=3 C=1 D=0	A	△下校時の学童については課題が残る。	A	△ヘルメット着用をどうするか課題である。バス通等で不公平が出ないようにする必要がある。
		④防災・防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めている。	A=9 B=5 C=0 D=0	A	○地震が起きると直ぐに机の下に潜ることができる。 ○防災・防犯訓練の事前・事後指導を適切に実施することができた。 ○5年生で防災体験学習をおこなうことができたのは大変よかった。ぜひ続けて欲しい △防犯教室は、警察の方と学校でとらえ方が違い、毎回戸惑う。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(保)可能なかぎり子どもたちの安全に気を付けて行事を考えてくださってありがとうございます。		
組織 運営	・教職員は一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	①教育目標の具現化に向けて、職員が共通理解の下、協力して取り組むよう努めている。	A=11 B=3 C=0 D=0	A	○教職員同士の関係も良好なので、雰囲気が良いと思う ○全教職員の協力する意識の高さを感じる。	A	○とてもよい雰囲気である。
		②校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。	A=10 B=4 C=0 D=0	A		A	
		③各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。	A=9 B=4 C=1 D=0	A	△USB等の管理について △文書の早めのファイリングに努めたい。	A	
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		
研修 へ 資質 の 向上 ▽	・教職員は定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	①校内の研究組織や体制を整備している。	A=11 B=3 C=0 D=0	A		A	
		②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。	A=11 B=3 C=0 D=0	A	○学習指導主任を中心に、前向きに授業の工夫・改善に取り組んだ。 ○すべての研究授業で、学校課題解決に向けた有効な手立てが講じられていた。	A	
		③研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。	A=11 B=3 C=0 D=0	A	○積極的に研修会に参加するように努めた。	A	
		★校内研修が充実し、教職員の資質の向上に役立っている。	A=12 B=3 C=0 D=0	A	○日々の先生方の話し合い等、同僚性がよく見られ、日々資質の向上が図られている。 ○研究授業後の研修は、授業作りなどで非常に勉強になった。 △コロナの影響で、積極的な参加は難しかった。	A	○児童の学力向上のため、教員の研修がいつものように実践されており、すごいと思う。
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		
学校 評価	・学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	①学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。	A=9 B=5 C=0 D=0	A		A	
		②外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。	A=10 B=3 C=1 D=0	A		A	
		③学校関係者による主体的能動的な評価が年1回以上定期的に行われている。	A=10 B=4 C=0 D=0	A		A	

児童・保護者アンケート	児童 ***	保護者 ***	*****				
情報提供	学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報を公開している。	① 学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分に分かりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A=11 B=2 C=1 D=0	A	△情報を適切に提供されていても、問い合わせや情報不足の指摘を受けてしまう。	A	
		② 学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの公開、メール配信等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A=13 B=1 C=0 D=0	A	○学級の部屋のアップはたいへんだったと思います。しっかりと「開かれた学校」になっています。感謝です。保護者も絶賛でした。 ○HPの公開が充実していた。 ○学年便りで、双方向性をもたせる工夫をしたところ、意見を書いた保護者が増えた。 ○ホームページで各学年の様子が定期的に更新されている。 ○可能な限りでHPの更新を行い、児童の様子を発信できた。	A	○HPの写真がよい。
児童・保護者アンケート	児童 A	保護者 A	○(保)ホームページがよく更新されていて見るのが楽しみ。				
保護者・地域住民等との連携	学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	① 地域コーディネーターと情報交換会を開き地域連携教員と連携を図りながら地域と学校の協働体制を確立している。	A=10 B=3 C=1 D=0	A	○コロナ禍の中でも、しっかりと連携が図られていた。 ○野澤先生を中心に、連携を図ることができた。 ○地域コーディネーターと職員との顔合わせができたことはよかった。 △学年としては、今年はいほとんど実践できなかった。	A	○コロナ禍の中では上出来。
		② 保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に設け、アンケート等を実施するなどして、具体的な要望や意見を把握し適切に対応している。	A=10 B=4 C=0 D=0	A	○コロナ禍にあっても可能な限り場を設け好評価を受けた。 ○運動会で実施し、貴重な意見が得られた。 ○運動会や持久走大会では、感染症予防を徹底した上で、保護者の参観ができるようにした。	A	○保護者の補助が大変うれしい。
		③ 地域の人々と交流する機会を設けたり、授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用したりしている。	A=8 B=4 C=1 D=0	A	○このような状況を考えると、適時、状況に応じた適切な対応ができたと思う。 ○コロナ禍であっても、工夫がされていた。 ○町たんけんを通して、地域の方々のお話を聞くことができた。 ○ミシンボランティアは、家庭科の学習で大変ありがたかった。 ○各学年で地域資源を生かした活動が実践されている。 △従来の形は不可能でした。 △コロナ禍のため十分には行えなかった。	A	
児童・保護者アンケート	児童 A	保護者 A	○(保)人数が少ないので地域の方々や町役場の方々からの協力が一人一人に届きやすい。 ○(保)PTAやボランティアに熱心な保護者が多い。 ○(保)親と先生たちの風通しがよい。				
教育環境整備	設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている	① 施設・設備を有効に活用している。	A=10 B=3 C=0 D=0	A		A	
		② 教材・教具・図書の整備を適切に行っている。	A=10 B=2 C=1 D=0	A	△教材教具の整備があまりできなかった。 ○新しい国語の教科書に載っている本が届いたので、授業で活用できた。 ○どんぐりクラブや池田先生のおかみげで適切に整備されている。	A	
		③ 学習・生活環境の充実のための取組を行っている。	A=10 B=3 C=0 D=0	A	○保護者のボランティアや大学生のサポートがあり、充実していた。 ○環境整備は、大根田さんや中泉さんが行ったださっているのがありがたいです。 ○コロナウイルス感染症予防に向けた環境の充実が図られていた。	A	○学校内外が整理整頓されていて気持ちが良い。
児童・保護者アンケート	児童 A	保護者 A	○(児)校庭が広くて遊ぶのが楽しい。 ○(保)校庭が広く緑が多く、自然の中で遊ぶ子どもたちが印象的。				

5 学校運営についての意見

職員評価	<p>○コロナ禍の中で、業務が増えたものもあります。業務改善は、日々意識し、小さなことでも実現を図っていくことが大切。時々職員室の日常会話の中で話題にすることも必要です。また、やはり必要な業務ではなかったかという視点での見直しも必要かと思います。</p> <p>○SSSのサポートにより、火曜日と木曜にも図書の出し出しができるようになったことはとてもよかった。</p> <p>○いじめ等児童に関する情報交換が素早く行われたので、情報を共有することができ、児童理解や指導に大変役立った。</p> <p>○クラブや委員会については今年度同様でいいと思う。</p> <p>○何年も前から学校は行事削減・縮小に取り組んできたが、今年度、コロナ禍のために中止、あるいは縮小したことで、これまで削減不可と思い込んでいたものでも、さして差し障りがなかったものもあったと思われる。そこを慎重に検証し、今後の計画に反映できるようにする必要がある。</p> <p>○運動会や持久走大会、修学旅行など、この状況の中でも工夫して行事を実施できたのがよかったと思う。</p> <p>○業間活動は自由遊びが中心であったが、自主性を生かして遊ぶ時間が増えたことで、子どもたちにとってはより楽しい学校生活になったと思う。また、教師にとっても提出物や課題を確認する時間として使えたことで余裕がもてた。(検温カードなど、確認するものも増えているので。)</p> <p>○職員室の雰囲気明るく、他の先生方にも相談しやすいので、ありがたいです。</p> <p>○職員室がいつも和気藹々とした雰囲気で、とても働きやすい職場だと感じています。</p> <p>○毎朝、校門のところで校長先生、昇降口で植木先生と丸山先生が児童に声をかけてくださり、子どもたちはとても嬉しかったと思う。</p> <p>○特別支援学級に在籍する児童たちへの温かい支援がありがたい。</p> <p>○校内の樹木を始め、施設設備の整備がいつも行き届いてありがたいです。</p> <p>△児童が SSS や学習指導員をよく理解していないようだった。</p> <p>△下校時のあつまりに関して、体育委員の児童たちが非常にがんばってくれているが、騒がしくなってしまうことがあります。学期の始めや連休明けなど、騒がしくなることが予想される日には、お手すきの先生方の協力をお願いしたい。</p> <p>△学校行事等で変更になることが多かったのは仕方ありませんが、ケースによりませんが、周知がうまくいかなかったことがあったように感じました。言葉で伝えることも大切ですが、文章にして渡すことも必要。</p>
児童	<p>○あおぞらタイムがあってよい。</p> <p>○イベントがコロナウイルスで中止になっても感染予防などを徹底していて代わりのイベントを用意してくれる。</p> <p>○校庭が広くて遊びやすい。</p> <p>○給食がとてもおいしい。</p> <p>○全校ボランティアで学校をきれいにしているところ。</p> <p>○いろいろな生き物がいっぱいいる。</p> <p>○遊具がたくさんあって楽しい。</p> <p>○元気っ子コースのもみじの木、さくらの木がとてもきれいになる。</p> <p>△あつまりをもっと早くできるように。</p> <p>△遊具がもっとほしい。</p>
保護者	<p>○小規模校で一人一人に目が行き届いてよい。</p> <p>○先生方の前向きな指導が素晴らしい。</p> <p>○毎朝校長先生が校門で出迎えてくれてありがたい。</p> <p>○校内外がきれい。</p> <p>○夏に冷たいデザートを支給してくださったのも子どもが毎日楽しみにしていて家で話してくれていた。</p> <p>△校庭の水はけをよくしてほしい。</p> <p>△さらなるコロナ対策をお願いしたい。(オンライン、水道蛇口の自動センサー等)</p> <p>△その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡の内容が分かりづらいときがあるので、分かりやすくしてほしい。 ・登下校時のヘルメットの見直し ・遠足の送迎時、出入口が南門1か所だけなので、入口と出口を別に。 ・体操着を買いやすくしてほしい。